

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームふくい

(ユニット名) さくら

記入者(管理者)  
氏名 上成 千亜紀

評価完了日 平成20年 1 月 28 日

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.理念に基づく運営</b>					
<b>1.理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 1.安全で楽しい環境作り 2.笑顔,思いやりを持って援助を行う 3.みんなでもとに生きよう 4.社会とのつながりを大切にしよう		理念を再検討し、自分達が身近に感じられるように見直しを行った。
			(外部評価) 管理者は、外部研修で、グループホームの理念について勉強され、「地域社会の中で利用者の生活を支えることの大切さ」等について職員と話し合い、新しい理念を作られた。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 月1回のミーティングで理念を再確認するようにしている。日々、理念を胸に取り組みようとしているが、忙しさにまぎれて業務的になっているところもある。		日々の取り組みをもっと理念実現に向けて具体的に取り組む必要がある。
			(外部評価) 毎月のミーティング時には、理念を読み上げる等、職員が日々のケアについての確認ができる機会を作っておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 玄関や各ユニットに掲示、入所時、運営推進会議などで理念を伝えているが、浸透できているかどうかは難しい。		独自のパンフレットの作成を行った。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 日々の散歩の中で挨拶をしたり、近くの商店へ買物に行ったりしている。出会う頻度の高い方々との顔なじみは出来ていると思う。		畑で取れた野菜をいただいたり、ホームで出来た花などを持っていったりしている。もっといい関係作りをしていきたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 自治会に参加し、年間行事（町内清掃、祭、消防訓練など）参加している。  (外部評価) 地域の行事に参加されたり、地域の方達をお誘いして事業所でバザーを開催された。		ホームへも足を運んで貰えるよう、ホームをオープンにする機会を多く持ち、もっと交流できるようにしていきたい。合同での避難訓練を実施する事が出来た。  さらに、「社会とのつながりを大切に」地域とのかわりを深めていけるような取り組みが期待される。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) まだ、地域貢献を考えるに至っていない。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 日々を振り返り、初心に戻ったり、取り組めていない点を見つめるいい機会であることを十分に理解出来ている。アンケートを実施し全体で自己評価に取り組んだ。  (外部評価) 評価項目を独自のアンケート形式にまとめ、すべての職員で取り組まれ、管理者がまとめ、自己評価を作成された。この一年間、事業所では、社会とのつながりを大切にする取り組みをすすめられた。		問題点を一つずつ解決していけるように取り組んでいきたい。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			会議の内容は、日々悩んでいるケアのあり方やホームの目指すべきところなどを中心に話し合いを行ってきて、それぞれが思うところを話し合い、勇気付けられる内容があり、サービスの向上になっていると思う。		合同の避難訓練が出来、他部署を含めた多種多様な参加による開催をしていきたい。
			(外部評価)		
			開催の時間を日中に変更され、より多くの方に出席いただくための工夫をされている。現在、出席者からのご意見は、少な目である。		今後も、ご家族やご近所の方達にも多く出席いただけるような工夫を重ねていかれてほしい。評価結果等も活かして話し合いを深めていかれてほしい。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			機会は少ないが、何かあれば相談できる姿勢、関係性を持っている。		もっと行き来できる機会を持ちたい。
			(外部評価)		
			系列施設を含めた統括管理者を通じて、市の担当者と相談できる体制を作っておられる。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			講習への参加や勉強会を行うことで、職員全体が大まかな制度への理解を持っている。必要な方への支援もできており活用している。		1年に1回は、振り返りの為の勉強会を行いたい。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			虐待とは何かという問いかけを持って勉強会などを行い、職員全体が利用者の思いを最大限に尊重し、特に言葉の虐待に十分気をつけるよう日々のケアに努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 専門用語は出来るだけ避け、利用者、家族に分かりやすいように説明を行うようにしている。時には事例を上げて家族や利用者の思いを聞くようにしている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 日々利用者とコミュニケーションを取る中で意見を反映させている。不満や苦情は言いにくいと思うが、表情などを察し、聞き取れるように話をする機会を作っている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 月に1度、日々の様子を手紙により報告している。利用者に何かあった時はすぐに連絡を取り合うようにしている。2ヶ月に一度、ふくい便りの作成により写真を掲載し、文章だけではない暮らしの報告をしている。 (外部評価) ご家族の来訪時には、ご本人の日頃の暮らしぶり等、報告されている。事業所発行の「ふくい便り」について、ご家族からお返事をいただくこともある。		日々の様子を書く手紙にも、個々の写真を入れ文章だけではなくもっといろいろな伝えられるようにしたい。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情は出てきにくい。して欲しいことや、出来ていないことなどの不満は時折聞き出せており、その都度改善するようにしている。 (外部評価) ご家族の来訪時等、要望をお聞きしている。		ホーム行事などへの参加を呼びかけ、苦情を言える関係作りをもっとしていきたい。 事業所では、今後、さらに遠くにお住まいのご家族等からのご意見をうかがうことにも、工夫していきたいと考えておられる。ご家族が事業所を訪れるような機会を増やされたり、ご家族同士が交流するような機会作り等、工夫を重ねていかれてほしい。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月1回のミーティング、日々日常的に職員の意見を聞いて、何事においても職員全体の意見で決めていけるようにしている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者の心身状態や状況にあわせて、スタッフが協力し合い、柔軟に対応できるようにしている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動後もユニット間の行き来により、利用者へのダメージは少ないように配慮している。離職も必要最小限に抑えるよう、スタッフへの配慮に努めている。 (外部評価) 職員の異動時には、管理者が利用者に直接説明をされたり、新しい職員には、利用者への接し方についてアドバイス等をされている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 個々の職員が必要としていることに対する把握に努め、必要な研修への参加に努めている。ミーティングで、その時に必要なケア内容についての勉強会を行っている。 (外部評価) 外部研修や母体病院での勉強会等、職員に研修受講をすすめておられる。		外での研修に参加出来る機会を多く持てるようにしたい。  職員が研修を受講しやすいような仕組み等について、検討されてみてほしい。職員のさらなるスキルアップから、貴事業所のケアの質向上を目指していかれることが期待される。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)			
			相互評価事業に参加し、職員が他ホームで勉強することによって自ホームのあり方、サービス向上に繋がっていると思う。近所の施設行事に参加するようにしている。他ホームと便りを交換し合うことで、自ホームの活動に取り入れたいことなども参考になっている。			久米地区でGHの交流会の場が出来た。これから多くのスタッフが参加できる様に取り組みしていきたい。
			(外部評価)			
			相互研修に参加された職員は、「他事業所で利用者にゆったりとかかわっている職員の姿」を見ることで、日頃のケアを振り返られた。地区のグループホーム交流会で行う、情報交換の内容を業務や支援に活かしておられる。			
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)			
			職員個々の声に耳を傾け、出来るだけストレスが少ないように、ホームの雰囲気、人間関係が大事にできるように努めている。			具体的にどうストレスを感じているのか、もっと把握に努め、改善していきたい。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)			
			職員個々の状況を把握し、激励、ねぎらいの言葉をかけるようにしている。			
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
<b>1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>						
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)			
			利用までに、一緒にゆっくりお茶を飲む機会をもうけ、世間話の中から、不安や希望などを汲み取るようにしている。			

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 希望の利用にそえるように、利用者同席で話をする機会と、利用者と家族それぞれで話す機会をもうけるようにしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 必要だと思われたり、今すぐ出来ることなどがあれば、話してみたり、他サービスの紹介をしている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 家族の出来る範囲での応援（電話、面会、外泊など）をしていただいている。  (外部評価) 入居前には、管理者がご本人に会いに行かれ、お話をされたり、事業所に来ていただき、昼食をともにされる等、雰囲気を味わってもらえるよう配慮されている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 日々の様子、表情の変化に気づき、さりげなく声をかけ、共に過ごしている実感を持ち、一緒に笑ったり、泣いたり、怒ったり、自然のままにしている。時に一方的な介護になってしまう事もある。  (外部評価) 職員は、利用者から料理や掃除等の家事の知恵を教わったり、日頃から利用者と職員は、お互いに「ありがとう」と感謝のことばを掛け合っておられる。		ゆとりある介護ができる様に、利用者の状態などに合わせて業務の見直しも検討していきたい。



## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 日常的に家族との会話を大事にし、日々の生活などから親しみを持ってもらえるような温かい雰囲気を作り、いい家族関係が作れるようにしている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 利用者からと家族からの声をそれぞれ大事にし、出来ることがあれば掛け橋になれるように努力している。		具体的に何を必要としているか、何が出来るかを職員間で話し合いたい。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) ホームでの行事へ招待したり、電話、手紙などの通信手段を使って、馴染みの方との関係性が継続できるように努めている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) いい時もあれば悪い時もある。いい時には見守り、悪いときには職員がかけ橋になるようにしている。		利用者同士の関係性の中で発生する、ストレスをもっと軽減できるようにしたい。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 必要なときにはサービス終了後も相談できるようにしている。契約終了後も、家族が気軽に足を運んで来てくださったりしている。		健康状態の回復により、再入居される場合などはスムーズに支援することが出来る。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		努めているがもっと実現に向けての努力が必要だと思う。
			利用者の思いを理解するため、よく話をしたり、表情から気持ちを汲み取り、実現できるように努めている。		
			(外部評価)		
			日頃から管理者・職員は、利用者のお話を聞くことを心がけておられ、職員は、利用者と2人で喫茶店に出かけて、ゆっくりとお話を聞くこともある。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			最初のアセスメントだけでなく、ホームの生活の中で新しく発見されたことなど、職員間で気づきを共有し、今後のケアにつなげられるようにしている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			常に接している中で気づいたことを職員間で伝え合い、利用者がどういう状態であるのか、今どうすべきなのかを話し合い、ドクターとも連携を取りながら、現状の把握に努めている。		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		利用者の言葉、家族の言葉を生かした介護計画の作成。チーム全体で意見を出し合い、実践できる計画の作成。
			毎月、日々出来る目標を立てて、チーム全体で取り組み、目標の出来、振り返りを行い、本人、家族からも意見を聞いて介護計画を作成している。		
			(外部評価)		
			利用者の思い等、職員が気付いたことを話し合い、介護計画を作成しておられる。介護計画書にご家族のコメント欄を新たに設け、ご家族のかかわりを増やせるよう取り組まれている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			定期的カンファレンスで話し合い、状態の変化に応じて、その都度、家族の意見、本人の希望、ドクターからの意見などをもとに、介護計画を作成している。		
			(外部評価)		
			介護計画は、3カ月に一度見直し、状態変化があった場合は随時見直すようにされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			センター方式の24時間シートを活用し、日々の気づきを分かりやすく具体的に記録出来るようにしている。		24時間シートを基本に、もっといい記録の取りかたができる様に内容について再検討、見直しの時期がきている。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			本人や家族が求める要望には、柔軟に対応している。		
			(外部評価)		
			併設のデイサービスと合同で誕生会を行われたり、野球がお好きな利用者の方と野球観戦に出かけることもある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 合同避難訓練を行ったり、小中学生の職場体験などの受け入れにより、利用者自身がいろいろな方と接する機会を持ち、ふれあい、協力の第一歩に繋がっていると思う。		協働できる機会を増やしたい。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 現在、他サービスの利用は無いが、必要な時には、取り入れられるように支援していきたい。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 必要なアドバイスを頂いたり、協力体制を持って、地域包括支援センターとの連携を図っている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 希望のかかりつけ医との関係性が保たれるように支援し、新たに必要になった場合には、本人、家族の意向のもと、必要な医療機関に相談している。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 専門医の往診が月に2回、訪問看護が月に2回ある。その都度、相談、援助の体制を適切に行えるようにしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 週に1回、協力医療機関から訪問していただき、日常の健康管理や相談、適切なアドバイスを頂いて援助が行えるようにしている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 日常的に協力医療機関との連携を図り、入院時にもまめに情報交換を行い、退院時にはスムーズに援助出来るようにしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) ターミナルを含め、これからの人生を、どう過ごしていくのか、そのためにホームでの生活がどうできるのか、利用者、家族と十分相談し、全員が同じ方向性に向けて取り組めるように、もっと努めていきたい。 (外部評価) 看取りについて勉強会を行い、体制等を整えておられ、入居時や状態変化時等には、ご本人ご家族・医師と話し合っておられる。昨年、看取り支援の事例があり、ご家族から感謝の言葉をいただき、職員の励みとなった。		ミーティングを通して、同じ方向性の中で取り組めるように、話し合い、勉強の機会を作っている。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 終末期の過ごし方はいろいろあり、ホーム内で取り組めること、医療機関へ依頼することなどを明確にし、利用者、家族の思いに耳を傾け、必要なことを行えるようにしている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 関係者全ての方と、利用者の為に情報交換やアドバイス交換を行っている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 日々、一人一人を大切に思い、ケアにあたるように努めている。トイレ誘導時に、大きな声をいつもどおりかけてしまいはっと思うことがあり、十分気を付けていきたい。同じ目線で感じあおうと努力している。		気づかない行動、何気ない行動が、利用者を傷つけてしまうかもしれないという気持ちを忘れずにケアにあたっていきたい。
			(外部評価) 訪問調査時、職員が利用者に過ごし方等を尋ねながら支援されている様子がうかがえた。		管理者は、トイレ誘導の際の言葉かけや居室のドアの開け閉め、言葉遣い等について、さらに配慮が必要と考えておられる。
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 利用者それぞれがきめらることなどを見極め、自己決定できる機会を持つようにコミュニケーションを図るようにしている。忙しさに負けて、自己決定を待つことが出来ていない事もある。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) その日その日で利用者のペースを大切に、決まりごとで動かないように努めている。できる限り利用者の希望、暮らしのペースを大切に接するようにしているが、忙しさを理由に、ゆったり出来ないときがある。		状況により、業務的になってしまわないように、ゆったりと話をしながら過ごせるようにしたい。
			(外部評価) 調査訪問時の昼食時、職員は、利用者の行動に沿って、ゆっくり見守りながら食事をされていた。食後、職員とおしゃべりを楽しむ方、テレビを見る方等、思い思いに過ごされていた。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 外出できる方は、近所の美容室へ行き、外出が難しい方は、月1階訪問して下さる美容師の方をお願いしている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 出来ることはいっしょに行うようにし、楽しく出来ている。外食の計画を立てたり、お弁当を選んだり、季節ものの食材があるときには、とてもいきいきとされている。 (外部評価) 職員は、必ず利用者と一緒に食事を楽しむことを心がけておられた。調査訪問時には、野菜の下ごしらえや味付け等、利用者もともに食事の支度をされていた。利用者からのリクエストのパンや麺類も採り入れ好評である。利用者は、月一回の外食を楽しみにされており、全員で出かけておられる。		月に1~2回は外食をしたい。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 健康状態にあわせて、代用品を使って手作りしたり、一緒に買物に行って個々におやつを選んだり、出来るだけ楽しめるようにしている。		病気により、塩分、糖分制限が必要な方も多く、それでも、我慢しすぎることがないように、楽しめる努力をしていきたい。
56		気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) それぞれの排泄パターンを職員間で共有する為に、チェック表をもうけ、個々に対して、声かけ、服薬管理をすることにより出来る限りトイレで排泄できるように支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			入浴が好きな方は、入りたいときに入っている。入浴が嫌いな方などは、1日の流れを通して、本人が入ろうと思うタイミングがもてるように努力している。		
			(外部評価)		
			入浴に気がすまない利用者には、職員が声のかけ方やタイミング等を工夫されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			生活のリズムを壊すのに支障がない範囲では、その日の状態やその方のペースで休まれている。出来るだけ夜眠れるように、日中は活動するようにしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			それぞれにホームの中で、水をくみに行ったり、新聞を折ったり、献立を書いたりなどの役割を持つようにし、生活に参加出来るようにしている。気が向かない事もあるので、強制にならない範囲での役割分担に心掛けている。		変化に対応しながら、利用者と一緒に楽しみを見つけていきたい。
			(外部評価)		
			編み物やカラオケ・パズル等を楽しむ方もおられる。		職員は、利用者の楽しみごとを見出しても「十分楽しめるよう支援できていない場合もあるのではないか」と感じておられる。支援の工夫等、利用者個々が喜びのある日々を過ごせるよう、職員で話し合いを重ねていかれることが期待される。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			この能力に合わせて、お小遣いを持って、自分の買い物にでかけたり、食費などを持って近くの商店にお遣いに行ったりしている。		



## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 天気の良い日はできるだけ外の空気が吸えるように散歩に出たり、近くの商店へ買物へ行ったり、出かけたときに出来るだけ足を止めずに一緒に出かけられるようにしている。 (外部評価) 数人のグループで近所を散歩されたり、散歩がむつかしい時にも玄関先で外気に触れるよう支援されている。		利用者が外へ行きたいと思ったときに、すぐに一緒に出れないときもある。出来るだけその時にすぐに対応出来るようにしていきたい。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 個別に喫茶店や買い物に外出したり、野球を観に行ったり、歌を聴きに行ったりしている。出来る限り、好きな事が出来るように希望を聞いて実現出来るようにしている。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話をかけたいときに、かけている。ご家族やご友人で仕事で日中電話に出れないときなどは、事前に聞いておき、できるだけ、電話できる時間にかけるように支援している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 訪問者がいてくださると言う事をとても大切に思っている。また来て頂けるように、あたたかい気持ちでお出迎えしている。バザーなどの行事にご招待し、訪問していただけるようにしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 勉強会を行い、身体拘束についての理解を持っている。利用者の生命の危機を及ぼす事態以外での身体拘束は行っていない。できるだけ拘束しないケアが出来るように、日々のケアについて職員間で話し合っている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 鍵をかけず、出入りが分かるように開閉時のチャイムをつけたりして、事故防止に努めている。  (外部評価) 玄関は、鍵をかけていない。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 常に利用者の方がどう過ごされているかは、声をかけたり、遠くから見守りを行うようにしている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 刃物などは、リビングや台所に置き、職員に声をかけて使用してもらうようにし、どこでも置かないようにしている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) リスクについての勉強会や、実際の訓練をおこなうことで、常に事故が起こりうることを忘れずにケアにあたることに努めている。事故報告書の作成により、今後の対応策なども職員間で共有し防止に取り組んでいる。		気をつけていても、転倒等の事故はなくなる。それでも、少しでも減らせる事が出来るように、原因を分析し、今後活かしていきたい。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 年1回以上は、緊急時の対応について勉強会を行い、うち一回は、ドクターに講話いただいて、急変、事故への対応に備えている。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年2回の避難訓練に、出来る限り全ての職員が出席し、実際に避難し、もしもに備えられるようにしている。避難訓練に、地元の消防団の方や地域の方に出席してもらえるように声をかけ、参加していただいている。 (外部評価) ご近所の方達と合同で防災訓練を実施された。起震車に利用者・職員で乗り、地震対策の大切さを学ばれた。		町内の施設持ち回りで、合同の防災訓練を実施できた。今後も続けていきたい。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 利用者の状態の変化にあわせて、ご家族に説明と同意、今後の対応の仕方などを話し合い、文書にて同意を得るようにしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 日々の申し送りにて、個々の体調を把握できるように心がけている。小さな変化に気づけるように、些細なことでもスタッフ同士が相談するようにしている。体調がおもわしくない場合はすぐにDrに相談している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬内容の変更があった場合なども情報を職員間で共有し、どうして服薬内容が変更になったのかも考慮できるようにしている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 便秘予防のために、水分摂取に心がけ、ホーム内での適度な運動、腹部マッサージなどをまめに行っている。寒い時期には、湯たんぽを使用し腸が動きやすいようにしている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 月に1回、歯科医師の往診を受け指導を仰いでいる。できている人いない人、出来ている時いない時がある。感染症予防にも繋がることを意識して、もっときちんと取り組めるようにしたい。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量、水分量は記録に残し、体調の変化や身体状態にあわせて摂取量が適量確保されるように努力している。摂取量がどうしても少ない場合は、Drに相談して指示を仰いでいる。 (外部評価) 食事・水分の摂取量は、日々の記録で把握されている。食事は、野菜を多く採り入れておられ、ゼリー飲料等も利用し、水分摂取にも努めておられる。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 感染症についての勉強会を行い、感染症に対しての理解、対処方法、予防の為の消毒、清掃を行っている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 台所用品は、H7α-消毒、熱湯消毒を行い、衛生管理に努めている。食材は、長期の保存をせず、出来る限り新鮮なうちに調理するようにしている。生魚は、その日に新鮮な物を魚屋から調達するようにしている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関には植物を置いたり、季節の小物を置いたりして、できるだけ清潔で暖かい雰囲気になるように心がけている。		もっと工夫できないか検討し、実現したい。
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) リビングは、季節ごとに装飾を変えて、季節感を味わえるように華やかにしている。浴室、トイレなどは清潔を大事に、不快な匂いがこもらないように努めている。廊下の電気を夕方になって付け忘れて、暗いときがある。 (外部評価) 居間には、利用者の手作りのひな飾りや大きな絵のカレンダーが飾られ、居間の窓からプランターの草花がよく見えるよう置かれてあった。		もっと利用者の方もいっしょになって、共有空間作りができるようにしていきたい。
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 共有空間において、一人になれるスペース的場所はない。それぞれが自分の心地よい居場所は見つけており、気分によって、椅子に座ったり、ソファに座ったりしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			本人や家族が望んだ家具や電化製品など、入れられる方は入れている。必要に応じて、量販センターへ買物に行ったりして、居室作りをしている。		好きな花を飾ったり、個性のある居室作りを利用者の方と共に行っていききたい。
			(外部評価)		
			居室には、ご主人やご家族の写真が飾られてあり、テレビや仏壇を持ち込まれたり、利用者それぞれの大切にされているものがあった。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			換気と温度調整に十分配慮し、一人一人の体温調節能力に応じた、室温を保てるようにしている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			浴室、トイレには手すりがあり、出来る限り不安なく動作が行えるようにしている。ベットは、個々の身体状態にあわせて、ベット策を利用したり、電動ギャジを利用したりしている。廊下に手すりがないために、歩行が不安定な利用者の方は、一緒に歩くなどして転倒防止に努めている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			場所を間違えやすいトイレには、見やすく張り紙をし、スムーズに分かりやすく移動できるようにしている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			ベランダには季節の鉢植えを置いたり、夏場にはプランターで栽培できる野菜を植えたりして、一緒に楽しめるようにしている。喫煙所にもしているので、個々がゆったりと外の空気を吸う場にもなっている。		狭い空間をもっと上手に活用していききたい。

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	話をする時間を再々持ち、できる限りの利用者の気持ち、希望を聴きだすことが出来ている。それを実現させれないときも、利用者と話をするを大事に思い、出来ないことについても理解し合えるようにしている。意向を実現するにはまだまだ努力が必要。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ②数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	出来る限りあわただしい生活にならないように、利用者のペースを大切にゆったりした雰囲気大事にしている。時に、TVをワイワイ観たり、ボードゲームで遊んだり、トランプをしたり、いっしょに楽しめるようにしている。おやつ時間が1番のんびり楽しく団欒している。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	出来る限り、利用者の意思を大切に1日を過ごすようにしている。時に、朝寝坊する日もあれば、外に出たいときもあり、日常生活のリズムがおかしくならない範囲での対応は、臨機応変にしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日々、笑いが出るような雰囲気作り、声かけを行っている。しかし、時々ホームでの生活に悩み、これからの自分に疑問を投げかけたりなどして、気分が沈まれたりしていることがある。そのときには出来るだけ気持ちが寄り添えるように、最後まで話を聞くようにしている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	個々に買物や外出、観戦など、希望にそえたときには、とてもいい表情を見せられている。一人ひとり実現に向けてはいるが、もっと対応できるように計画を進めていきたい。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	常に、協力医療機関に相談ができ、ドクターの指示で必要な対応をしている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとりの変化にその都度対応していけるように、申し送り、職員間、家族、関係者と話し合いを徹底している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	来荘時には、スタッフ全員が挨拶を行い、何でもご家族とお話ができる様にしている。不満や苦情はまだまだ聞き出せていないこともあると思ひ、関わりを継続していきたい。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③たまに 4 ほとんどない	時々個々に来訪者がある。バザーなどの行事には友人や地域の方を招待し、参加していただいている。退居されたご家族が遊びに来てくださることもある。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② 1 大いに増えている 2 ② 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	ホームの外で声をかけてくださったり、運営推進会議の中での話も、堅くまとまらず、いろいろな方向での世間話を含めた、充実した内容に少しずつなっている。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ② 1 ほぼ全ての職員が 2 ② 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ストレスは大なり小なりあるが、職員間で助け合い、よりよいケアに向けての向上心を持ち、楽しい職場の雰囲気ができていると思う。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が 2 ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	忙しい日もあり、利用者が思うようにことが運ばない日もあるが、仕方がないという理解を得るようにしている。万全ではないと思う。一日の中で、利用者の方々のいい笑顔に遭遇する時がある。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての家族等が 2 ② 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	不満の声はわからないが、家族からのこうして欲しいという希望に応えていくようにしている。

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

日常を大切に、あたりまえのことが当たり前出来る事をいっしょに喜び楽しみながら、日々の生活が送れるように取り組んでいます。すべての日常生活動作に介助が必要な方も多いたりますが、そのなかでも、全く何も出来ない方はいらっしゃいません。簡単な意思表示だったり、手を動かす事だったり、ちょっとした事を大切にできるようにスタッフの意識を統一して、ケアにあたる事が出来るように努めています。一日の時間を計画的に過ごすのではなく、利用者の方々がどのように過ごしたいのかを考え、外出なども、思い立った時に出来るようにしています。特にお天気のいい日は、外へ出る事が気持ちよく、ちょっと寄り道して、お茶やおやつを食べて帰ることがひそかな楽しみになっているようです。一日を大切に、利用者も職員も自分らしくみんなで楽しむ事を大切に、そんな願いを持って日々のケアに努められるようにしています。